

は～とふる 日光

世代の違うご夫妻に聞いてみました ～男女共同参画と結婚生活の秘訣～



種田さんご夫妻



三浦さんご夫妻



きらり★輝く女性

世界への挑戦 | トレイルランナー 星野由香理さん

日本の順位は149カ国中 **110位**

2018年ジェンダー・ギャップ (男女平等) 指数ランキング

※世界経済フォーラム2018
(本指数は、経済・教育・政治・保健の4つの分野のデータから作成)

順位	国名	GGI値
1	アイスランド	0.858
2	ノルウェー	0.835
3	スウェーデン	0.822
4	フィンランド	0.821
—	—	—
8	フィリピン	0.799
—	—	—
12	フランス	0.779
—	—	—
14	ドイツ	0.776
—	—	—
103	中国	0.673
—	—	—
110	日本	0.662
—	—	—
115	韓国	0.657



世代の違うご夫妻に聞いてみました

近年、夫婦に関する考え方が昔から変わりつつあると言われています。
日光市にお住まいの二組のご夫妻にお話を伺いました。



たねだ まさのぶ
種田 匡展さん・
ちかこ
千佳子さんご夫妻

匡展さんが53歳の時、東京から日光市に移住。
現在、匡展さんは社会福祉協議会の福祉ボランティアとして囲碁、将棋、麻雀などのお相手や、フードバンク日光の活動を行なっています。

千佳子さんは、音訳ボランティア「かわせみ」の会長として、また、傾聴ボランティア「ありのまま」、社会福祉協議会、NPO 法人ウエーブで活動をしています。

結婚生活の中、ご夫婦で気を付けていること、仲良くしていく秘訣は？

匡展さん：お互いの人権を尊重して話を聞くことです。昔は亭主関白であることが普通、当たり前でした。今ではお互いに活動を応援しています。

千佳子さん：夫は昆虫や植物が好きで、キリギリスやスズムシを採りに行って繁殖させたり、まっかちん（ザリガニ）を釣りに行ったりすることが好きです。私は、初めはそんなに虫も好きじゃなく触ることもできませんでしたが、今は慣れたというか、なんでも一緒に楽しむ様にしています。

2、3年前に、それまで2台あった車を、維持管理を考えて1台にしました。車を共有するためお互いのスケジュールを合わせる必要があり、よく会話をするようになりました。

普段から生活の中で何気ない声かけを心がけています。

理想の夫婦像について教えてください。

千佳子さん：人と比べないことを気をつけています。

その家にはその家のルールがあるのだから、いいところは取り込んでも、そうでないところまでは立ち入りません。

色々な活動をしている中で、やりたいことをお互いに応援し合いながら生活しています。





みうら
三浦

しんすけ
眞介さん・

ももよ

百世さんご夫妻



東京のケーキ店で先輩・後輩として知り合い8年前に結婚。百世さんのご両親が経営する日光市のレストラン パン・マリーでケーキ部門の充実を図り、3年前から本格的にケーキの販売を始めました。

ケーキは、百世さんの発想を眞介さんが作り上げていくという二人三脚の品。妥協を許さず、納得した物をお客様に提供していきたいと二人の思いは共通しています。

仕事や生活で、男女共同を感じる、あるいは男女の考え方が固定されていると感じる場面はありましたか？

ケーキ職人は、見た目は華やかそうでも、意外に重労働なうえに、「今日は何時に終わる」と言いきれない仕事です。

東京のケーキ店で働いていたときは、ケーキ職人を目指す女性が、雑用や販売員に回されていくのを見ることがあり、ケーキ作りをしたいはずなのに他の仕事に就かされてしまうのを見るのは、気の毒でした。

男性は、スタイリッシュで美しいケーキを作り、女性はいかかわらしく、愛らしいケーキを作る傾向があります。自分にはないものや違いを認めつつ、刺激し合える場面では、男女共同を感じます。

結婚生活の中、ご夫婦で気を付けていること、仲良くしていく秘訣は？

お互いを尊敬・尊重することが仲良くやっていく秘訣です。主導権がどちらということではなく、不足するところと得意なところを認めて任せ合うことがいいのかなと思います。



最後に…

今回、年代も仕事も異なるご夫妻にお話を伺いました。

印象に残った点として、「夫婦が仲良くなる秘訣」という質問の中で、共通して「お互いを尊重する」という言葉が出てきたことです。普段からコミュニケーションをたくさんとっておられるステキなご夫妻だと感じました。



男女共同参画セミナーを開催しました

日光市では、5地域(今市、日光、藤原、足尾、栗山)で男女共同参画のセミナーを開催しています。開催された4つのセミナーの内容です。

今市地域

平成30年9月28日(金) 大沢公民館

- 講師: 東京大学大学院教授 ^{せちやま} 瀬地山 ^{かく} 角 氏
- 演題: 「笑って考えよう! 社会を救うワーク・ライフ・バランス」

* * *

講演では、主婦への優遇、男性の家事・育児があまりに少ないといった問題があること、これからは従来の制限無く働ける労働者だけではなく、介護、育児などの制約を持った人が働けるような環境づくりが必要とされていること、そして、「父が家族全員を養うことは高度成長期の常識」と説明し、こうした「1頭立て馬車」から、夫婦で正社員として働く「2頭立て馬車」にしていくことで、巡っては男性の命を救うことに繋がると、硬くなりがちな話題を、ユーモアたっぷりに説明をしていただきました。



日光地域

平成30年11月15日(木) 日光市交流促進センター

- 講師: NPO法人 栃木県カウンセリング協会理事長 ^{まるやま} 丸山 ^{たかし} 隆 氏
- 演題: 「男女ともに、家庭や職場で使えるストレス解消のコツ」

* * *

ストレスを主題に、現代の陥りやすいストレスの仕組み、ストレスを低減するための呼吸法、健康を保つための考え方などを講演していただきました。



藤原地域

平成30年12月10日(月) 藤原公民館

- 講師: 公益財団法人 とちぎ男女共同参画財団 ^{よしむら} 芳村 ^{よしこ} 佳子 氏
- 演題: 「男女共同参画の視点で取り組む防災
～避難所運営ゲームを通して～」

* * *



最近、栃木県で発生した災害の紹介の後、参加者が実際に図上で避難所を運営する訓練を体験し、参加者が知恵を出し合いながら取り組んでいました。



足尾地域

平成30年10月17日(水) 銅やまなみ館

- 講師: 医療法人足尾双愛会 足尾双愛病院看護部長 ^{こばやし} 小林 ^{よしえ} 良江 氏
- 演題: 「男女の生涯を通じた心身の健康な生活」

* * *

地域での様々な人との出会いや、グループホームでのお話を通して、心身の健康を保つためのコツを講演していただきました。



平成30年度 男女共同参画社会づくりフォーラムin日光

入場無料 事前申込不要
託児・手話通訳あり
託児申込み:平成31年3月1日迄まで

一人ひとりが輝く男女共同参画社会をめざして

演題

女と男 豊かな生き方

平成31年 **3月9日** **土** ■開場 12時40分
■開演 13時10分

日光市今市文化会館 大ホール

(栃木県日光市平ヶ崎160番地 TEL:0288-22-6213)

プログラム

今市文化会館ホワイエ

- 女性起業応援ブース(10時～15時30分まで)

今市文化会館大ホール

- オープニングアトラクション
箏と尺八演奏

和久文子 氏 福田智久山 氏 前川智世 氏

- 日光市男女共同参画都市宣言文 唱和
- 男女共同参画推進事業者表彰
- 日光市「女性の活躍」応援プロジェクト事業報告
- 講演会

「女と男 豊かな生き方」講師：小宮山 洋子 氏

女性起業 応援ブース

- ◆ ゆばスムージー販売 ◆ くわさ体験 ◆ フットケア体験
- ◆ 手相 ◆ エンジェルカードリーディング
- ◆ 楽育アートセラピー ◆ シカ革アクセサリー作り体験・販売
- ◆ お茶、もち、こめっこ販売 他



講師

こ み やま よう こ
小宮山 洋子氏

ジャーナリスト

元 NHK解説委員・アナウンサー。1998年参議院議員に。2003年から衆議院議員(4期)。厚生労働大臣、少子化対策担当大臣等を歴任。2013年1月政界を引退、これまでの経験を生かし、社会保障(子育て、超少子高齢社会への対応等)、労働問題(特に女性)、男女共同参画をテーマに各地で講演。

人権・男女共同参画課 電話21-5148 FAX: 21-5105 E-mail: jinken-danjo@city.nikko.lg.jp



台風の影響により、延期となりました

男女共同参画セミナー(栗山地域)を開催します。



● 新しくなった栗山庁舎にぜひお越しください。 ●

- 日時：平成31年3月5日(火) 13:30～15:30
- 場所：栗山公民館 第1・2会議室(日光市黒部54番地1)
- 講師：日本アドラー心理学カウンセリング協会 理事長 ^{すずき}鈴木 ^{みのる}稔 氏
- 演題：「困難を乗り越える勇気～男女が協力して幸せな人生を生きるには?～」
- 発表：地域おこし協力隊活動報告



日光市女性相談ほっとライン

TEL 0288-30-4140

電話相談受付時間▶平日 8:30～17:15
(休日・祝日・年末年始休業日を除く)

一人で悩まず、お気軽にお電話ください。
家庭や健康のこと、仕事のこと、人間関係のこと
などいろいろな相談に応じます。



世界への挑戦

ほし の ゆ か り
トレイルランナー 星野由香理さん

山岳マラソン競技「スカイランニング」世界シリーズ大会の50km以上部門で日本女性初世界ランク19位!!
12月に台湾で行われた「フォルモサトレイル」で優勝したばかりの星野由香理さんにお話を伺いました。



☆ トレイルランニングについて教えてください。

登山道など、アスファルトではない未舗装の道を走る競技です。

標高 2,000m以上の山岳地帯を走るスカイランニングはヨーロッパが本場です。1つのレースに6～7日間かかるものもあります。体力的にはきついですが、景色の素晴らしい場所が多く、楽しく走ることができます。

☆ 始めたきっかけは何ですか？

大学時代からスポーツトレーナーになりたいと思っていました。スポーツジムに就職後、先輩から駅伝に誘われ、3キロ走ったことが始まりです。その後、フルマラソンに参加するようになりました。

以前より登山はやっていましたが、「トレイルランニング」という競技の情報が入り、32kmの大会に参加したところ7位になり、「初めてでもここまでできる」、「山のほうが楽しいなあ」と思えたことがきっかけです。今では夏はトレイルランニング、冬はフルマラソンといった形で走っています。



☆ 女性が活躍するのは大変ではないですか？

夫もアウトドアスポーツが好きで、競技への理解も深く、大会などで海外に行くときは笑顔で送り出してくれます。時には大会の休憩所でサポートをしてくれ、世界シリーズ大会最終戦のブルガリア大会では一緒にゴールするなど、私と一緒に競技をしている気持ちなのだと思います。

競技をする上で夫の理解は大きく、いい人に巡り会えたと思っています。夫の協力、支えに応えるためにも言葉で伝えるようにしています。

☆ 日本と世界を巡って、男女共同の考え方の違いなど感じた場面はありますか？

スポーツの中で感じることがあります。

それは、トレイルランニングを含め、男女一斉にスタートする競技では当然男性の方が体力もあり強いので1位のゴールテープは男性が切ります。そうすると注目されるのは男性となり、女性がクローズアップされることが少ないのが現状です。

☆ これからどんなことに挑戦したいですか？

日光市は山があって自然豊かですから、このスポーツが注目され、文化として広まっていくといいのかなと・・・。

昨年8月に男体山を24時間で8往復しましたが、これからもアウトドアスポーツを広めていくひとつとして、日光の山を使ったチャレンジを行ってみたいです。



編集後記

今回の取材では、二組のご夫妻と世界への挑戦をし続ける女性、星野さんからお話を伺いました。パートナーとたくさんコミュニケーションをとること、男女の違いを理解して、お互いを認め合うことが、その人の個性と能力を十分に発揮でき、それぞれの活躍と笑顔につながることを実感しました。

【取材・編集】 大野ひとみ 大吉智子 齋藤はるみ 中村信男 松本祐子 八木澤義彦

